

各位

東亜合成株式会社

愛知県知多市における低炭素水素モデルタウン事業化可能性調査への参画

東亜合成株式会社（代表取締役社長：高村 美己志）は、愛知県が計画する「低炭素モデルタウン事業」の事業化可能性調査に参画いたしましたので、お知らせします。

愛知県および当社を含む 13 の企業等が連携し「愛知県知多市における低炭素水素モデルタウン事業化可能性調査」（以下、「本事業」という）に取り組めます。

本事業は、知多市の水素ステーションから燃料電池車（FCV）だけでなく、公共施設や住宅に設置した燃料電池や水素給湯器など、幅広い利用先に低炭素水素を低コストで供給する事業について、事業化可能性調査を実施するものです。

事業化可能性調査は、水素を「つくる」、「はこぶ・ためる」、「つかう」といった観点で行います。当社は名古屋市にある工場で塩の電気分解により水素を製造していることから、水素を「つくる」という観点で、本事業に貢献してまいります。

なお、本事業は環境省が公募した「令和6年度既存のインフラ等を活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築・FS事業」に採択されました。

以上

<本件に関する愛知県の記事>

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/teitansosuisomoderutaun-saitaku.html>

<本件に関するお問合せ先>

東亜合成株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話：03-3597-7215